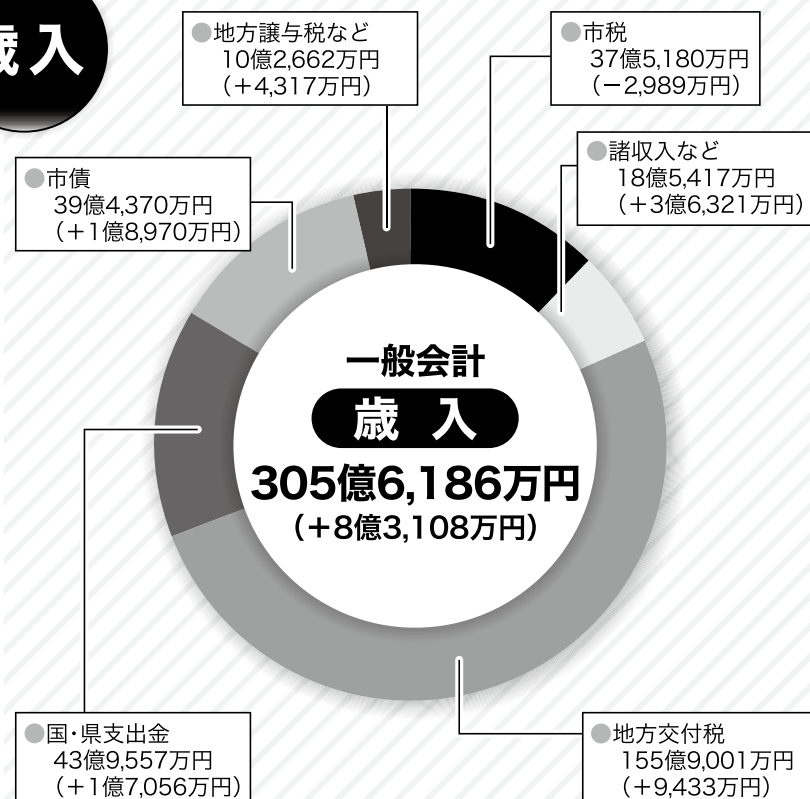


一般会計の歳入と歳出

歳入



市税は、景気の回復による設備投資の増加が見込まれ、固定資産税が増加するものの市民税が減収する見込みで減額となりました。

国・県支出金は庄原小学校の改築事業が本格化することや、消費税の税率引き上げに対応するための臨時福祉給付金などがあるため増額となりました。

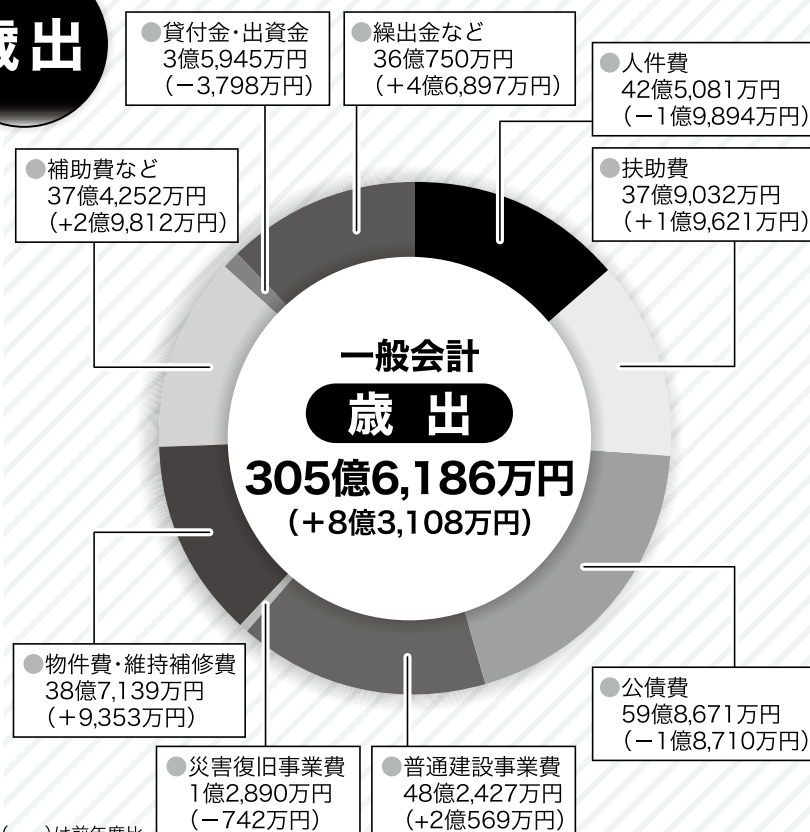
諸収入などは、主に「庄原いちばん基本計画」に基づく事業を実施するため新しく設けた基金(※6ページ参照)からの繰入金により増額となっています。

【用語説明】

- 地方交付税
所得税、法人税、消費税などの国税収入の一部を国が自治体へ交付します。
- 市 債
公共施設整備などのための借入金です。主に建設事業のためです。
- 諸収入など
保育料、市営住宅使用料、貸付金の返還金、貯金に当たる基金からの繰入金などです。

()は前年度比

歳出



扶助費や補助費は、救急医療体制の整備や入学祝金など、「庄原いちばん基本計画」に基づく事業費が増えたため、増額となっています。

普通建設事業費は、新設改良する道路が増えること、超高速情報通信網の整備を進めていくことから増額となっています。

公債費(借入金の返済額)は、公債費負担適正化計画どおりに計画的な借入に努めてきたことから減少しました。

【用語説明】

- 扶助費
生活保護、児童手当や高齢者・乳幼児の医療費などです。
- 普通建設事業費
道路、学校、各種公共施設の建設費などです。
- 物件費
賃金、旅費、消耗品費、通信運搬費などです。
- 補助費
各種団体などへの補助金、負担金です。

()は前年度比

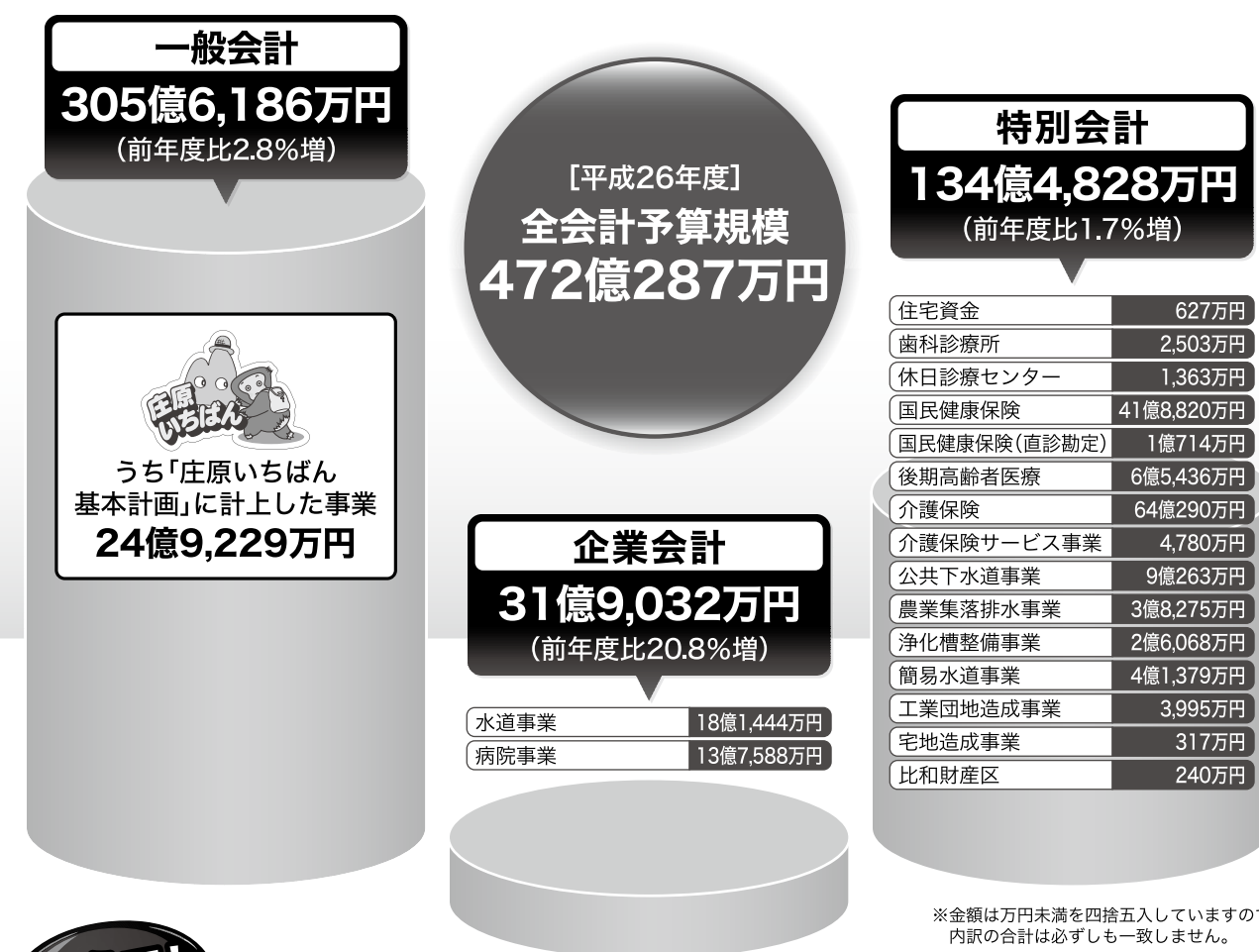
《特集2》 平成26年度予算

「庄原がいちばん」と実感できる「ふるさとの実現」

財政課財政係 ☎ 0824-73-1129

庄原市の1年間のお金の使い方をまとめた平成26年度予算が決定しました。

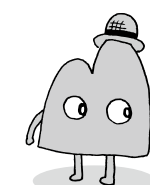
限られた財源を効率的・効果的に活用し、市民の皆さんが安心して暮らすことができるよう、「庄原いちばん基本計画」に掲載した施策や事業を優先的に計上しました。過疎対策事業債を活用して新たな基金(貯金)を設けるなど、新たな財源の確保に努め、市民生活に直結した事業を着実に実施していきます。



教えて！
キョロやまくん

Q. なぜ市の会計は細かく分かれているの？

A. 「一般会計」というのは、福祉・教育・道路の整備など、市が行う基本的な施策を行うためのお財布(会計)で、市税や地方交付税などを主な財源にしているんだよ。国民健康保険や介護保険など、特定の収入を財源にして事業を行う場合は、「特別会計」として、それぞれ別のお財布を作ることが条例で定められているんだ。また、水道事業や病院事業など、独立採算制を原則にした企業的な性格の強い事業を行う場合には、「企業会計」として独立したお財布を作っているよ。



自然との共生で暮らしが輝くまち

環境・基盤・定住

超高速情報通信網の整備

3億2,000万円

市内全域に光ケーブルを整備するため、運営する事業者へ補助金を交付し、市民の利便性の向上や企業の経済活動の促進を図ります。本年度は、住民告知システムの施設の整備を行います。

庄原駅周辺土地区画整理事業

2億3,083万円

庄原市の玄関口であるJR備後庄原駅周辺地区を、安全でにぎわいある場所にするため、駅前広場や幹線道路の整備を行います。

道路橋梁の整備・維持

15億5,673万円

国の補助金や市債を活用して、幅の狭い市道の改良や老朽化した橋の修繕・架け替えを行い、地域住民の利便性・安全性の向上をめざします。

新庄原市斎場の整備

2,610万円

建築後38年が経過し、老朽化が著しい庄原市斎場を、斎場再編計画に基づき、新しい庄原市斎場として整備します。今年度は、用地測量や設計業務を行います。

主な庄原いちばんづくり事業

○道路新設改良事業(庄原小学校線)
5,650万円

○備北地区消防組合負担金
1億7,146万円



心と体の健康づくりで命が輝くまち

保健・福祉・医療

公的病院への支援

1億1,494万円

庄原赤十字病院の救急医療体制を確保するとともに、産科の早期再開をめざして医療機器の整備などに対し補助を行います。

臨時福祉給付金の支給

1億4,603万円

消費税率の引き上げの影響を緩和するため、「臨時福祉給付金」を給付し、所得の低い方の負担軽減に努めます。

子育て支援の充実

1億602万円

出産祝金の支給や、事業所内に託児所を設置する事業者へ補助金を交付するなどして、子育てを支援します。

また、消費税の税率引き上げの影響を緩和するため、「子育て世帯臨時特例給付金」を給付し、子育て家庭の負担軽減に努めます。

高齢者の見守り事業

新規

102万円

高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に暮らし続けることができるよう、業務で世帯を訪問する民間事業所と連携し、高齢者に異変などがあった場合に適切な対応が行えるような仕組みをつくります。

主な庄原いちばんづくり事業

○乳幼児などの医療費助成を
中学校3年生まで拡大 7,911万円

○保育料の軽減(第3子以降無料化)
3,858万円

○高保育所・西城保育所改築
609万円

○敬老祝金の支給
124万円

○口和歯科診療所・高野診療所の
医療機器整備 447万円

本年度の主な施策

庄原市の基本政策である「長期総合計画」の項目ごとにご紹介します。

協働の力で笑顔が輝くまち

自治・協働

自治振興センターの整備

3,153万円

老朽化が進み、修繕が必要になった自治振興センターの整備を行い、自治振興区の地域づくり活動の拠点としての充実を図ります。

本年度は、西城自治振興センターの外壁塗装や、総領自治振興センターの空調工事など、5施設の整備を行います。

DV対策

303万円

DV被害者への支援を行うため、女性相談員を設置するなど、相談体制の充実を図ります。

また、講演会など、DVの防止・予防のための啓発活動を行います。

地域おこし協力隊の推進

新規

1,798万円

まちづくりに対する意欲を持つ人材を「地域おこし協力隊」として地域外から受け入れ、地域の新しい力として、住民と一緒に活動してもらうことで地域の活性化を図ります。

本年度は、特産品の開発や定住促進事業などで「地域おこし協力隊」を活用します。



さとやま資源の活用で地域が輝くまち

産業・交流

ブランド名「比婆牛」の推進

2,073万円

これまでの和牛振興対策事業を見直し、伝統ある「比婆牛」のブランド化に向けた取り組みを重点的に支援します。ブランド化推進のためのPR活動や、比婆牛の血統を受け継ぐ牛を導入した農家などに対して支援を行い、産地の拡大を図ります。

地域経済の活性化

新規

4,056万円

庄原商工会議所・備北商工会・東城町商工会が発行する7%のプレミアム付商品券に対して補助を行い、地域内での消費を促進し、商業の振興を図ります。

有害鳥獣防除対策

4,879万円

イノシシやカラスなど、鳥獣による農林水産物などに対する被害を防止するため、防除柵や箱わなを設置した地域に補助金を交付します。

また、有害鳥獣捕獲実施隊などによる捕獲活動を実施します。

庄原市の逸品づくり

1,124万円

高野地域で実施している「高野の逸品100プロジェクト事業」をモデルに、農林水産加工品づくりを市内全域に広げられるよう、専門家のノウハウを学びながら、行政と商工会議所・商工会、特産品販売拠点施設などが連携して人材育成などを行います。

主な庄原いちばんづくり事業

○地域材の利用促進事業
400万円

○がんばる農業支援事業
800万円

○家畜飼養施設増改築などへの補助
433万円

○超高速情報通信網の整備
3億2,000万円



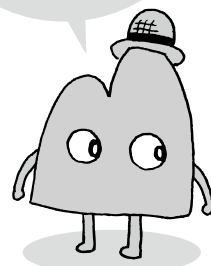
新たな基金を創設しました

基金とは、市の貯金のようなものです。

本年度、主に「庄原いちばんづくり基本計画」に計上した各事業を着実に実施し、市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりをめざすため、過疎対策事業債を活用して、新しく「庄原市過疎地域自立促進基金」を創設しました。

過疎対策事業債は市の借金ですが、その返済額の70%は、地方交付税として国から市へ交付されます。また、基金の目的に沿った事業であれば次年度以降にわたって柔軟に使用できることから、今後、人口の減少による税収の減少や、地方交付税の減少が見込まれる中でも有利な財源として基金を積み立て、計画的な事業の実施に活用していきます。

基金の財源は借金だけど、70%が地方交付税としてもらえるので、一般財源(市税など)を使うより有利なんだよ。



基金で実施する事業(例)

- 乳幼児などへの医療費の助成
- 若者の就職・起業への支援
- 庄原市の逸品づくり事業

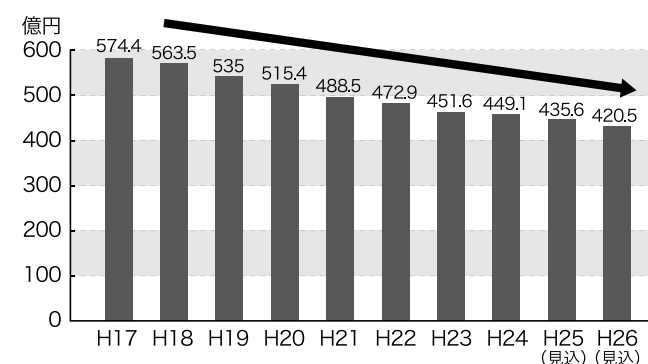
庄原市の市債残高は？

グラフは各年度末の一般会計の市債残高を表しています。平成25年度以降は見込みです。

平成25年度末の市債残高の見込みは435.6億円となっています。平成17年度末の574.4億円から比べると138.8億円の減少になる見込みです。

これは、各年度の借入額が返済額より少なくなるよう、計画的な取り組みを行っているためです。

《市債残高の推移(一般会計)》



教えて！
ヒバゴン

Q. なぜ借金(市債の発行)をして事業をするの？

A. 道路や学校などの公共施設を建設するには、たくさんの費用がかかるんじゃ。このような施設は長〜い間、使い続けることになるけん、建設した年の市民だけが一度に大きな負担をするのは不公平よのう。じゃけん、市債の借り入れをして、今、市へ税金を納めている年代の人だけじゃなく、将来の世代の人にも公平に負担(返済)をしてもらうんじゃ。

Q. 26年度は市債を発行してどんな事業をするの？

A. 市債の発行ができるんは、主に建設事業(公共施設の整備や災害復旧など)なんじゃ。

- 本年度は、
- 庄原小学校改築事業(6億1,220万円)
 - 超高速情報通信網整備事業(1億6,120万円)
 - 庄原駅周辺土地区画改良事業(7,600万円)
 - 口和堆肥センターの長寿命化事業(2,580万円)
- ※金額は市債発行額

などの事業を、市債を発行して行っていくことにしとる。

過疎対策事業債や合併特例債など、返済額の一部が国から地方交付税として交付される有利な市債を発行したり、公債費負担適正化計画に基づいて計画的に発行したりすることで、財政の健全化に努めていくんじゃ。



ふるさとを愛する心で人が輝くまち

教育・文化

小学校施設の整備

8億8,482万円

子どもたちが学びやすい教育環境をつくるため、各小学校の校舎・屋内運動場などを整備します。

本年度は、庄原小学校の改築、美古登小学校トイレの改修、東城小学校の外構の整備などを行います。

図書館司書の配置

780万円

児童生徒の読書活動の推進を図るため、図書館司書を配置し、各学校に出向いて読み聞かせ活動や本の紹介を行います。

庄原市民会館の整備

3,242万円

庄原市民会館にエレベーターを設置し、高齢の方や障害をお持ちの方にも利用しやすい施設に改修します。

重点戦略プロジェクト

転入定住者への支援

2,280万円

転入定住者(I・Uターン者)の起業への支援や、住宅の取得・改築の費用に対する助成を行い、定住の促進を図ります。

こだわり米産地育成事業

600万円

消費者が求める安全・安心なこだわり米の生産を広げ、庄原産米のブランド化を進めるため、こだわり米を栽培する地域に対して、広告宣伝や機械・施設の整備に必要な経費を助成します。

地産地消の推進

127万円

庄原産の農産物や特産品のPRを目的に、ひろしまフードフェスティバルやひろしま夢プラザなどへの出展を行い、販路の拡大を図ります。

特別支援教育の充実

471万円

各学校と連携し、児童生徒の障害の状況や必要性に応じて特別支援教育支援員の配置を行います。

専門家による巡回相談事業を継続的に実施し、個々のニーズに合わせた支援体制の充実を図ります。

主な庄原いちばんづくり事業

○私立幼稚園への補助 624万円

○入学祝金の支給 1,534万円



庄原市観光振興総合事業

3,206万円

庄原市観光協会に市内全域の観光事業を委託し、さまざまな取り組みを実施することで、市民が主役の「儲ける観光」の仕組みをつくります。

本年度は、地域が自分たちの持つ観光資源を生かして観光客を受け入れる「着地型観光」の推進や、ニュースペーパーの作成に取り組みます。

主な庄原いちばんづくり事業

○自治振興区定住促進活動支援 200万円

○若者就職奨励事業 1,500万円

○新規就農者総合支援事業 1,347万円

○木の駅プロジェクト事業 180万円